

地方創生 やらまいか通信 vol.39

発行日：平成 28 年 3 月 22 日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！

地方創生 (交付上限額：8,000 万円 満額獲得)

「加速化交付金」 3/18 採択決定!

国は、一億総活躍社会の実現に向けた緊急に実施すべき対策（H27.11.16 一億総活躍国民会議決定）を踏まえ、緊急対応として「地方版総合戦略」に位置付けられた先駆性を有する事業を公募。

全国の自治体が政策を立案し、内閣府へ申請。個々の事業を国が審査し、交付対象事業を決定。
（参考）申請事業数 **2,744** 件に対する交付対象事業数は **1,926** 件（**70.2%**）

地方創生「加速化交付金」概要

市予算：⑦7号補正 H28.3.22 可決

■「グローバル戦略」加速化事業 **40,000 千円**

ラグビーワールドカップ 2019 を見据え、「おもてなし民泊」や「市民の英語力向上」など“まちの国際化”に向けた取組に着手するほか、クラウンメロンの海外輸出の加速化、他の袋井産農産物の海外販路を開拓するため、輸出先であるタイ(H27 正式輸出)を中心にした新興国市場での需要喚起と販路拡大等に挑む。

具体的には、①現地での商品の取扱いを含めたブランドづくりなどの「アウトバウンド戦略」と、クラウンメロンをきっかけに②外国人観光客や外国人バイヤーなどを招致し、地域の産物や魅力を知っていただくための環境整備を含めた「インバウンド戦略」を一体的に推進させる。

■「3Days Worker's Office 構想」実装加速化事業 **40,000 千円**

既存のシルバー人材センターやハローワークの隘路にある潜在的な需要供給や課題を掘り起こし、これを補完する仕組みの構築に向けた制度設計等に挑む。

具体的には、基礎調査(H27 実施)に基づいた詳細な制度設計と並行し、地域内に潜在する「しごとの創出」と「ひとの活用」を促すため、企業内での仕事の切り出し方の助言や好事例の紹介を行う専任のコーディネーターを配置し、本事業への理解・普及とあわせ実装化を加速させる。